
生徒会諜報部 † Gamble Rumble †

翌檜.R n

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生徒会諜報部+Gamble Rumble+

【NZコード】

N1525C

【作者名】

翌檜・R n

【あらすじ】

時代を先駆ける黎明館学園。様々な人、技術が集約するそこでは、日夜問題が勃発している。そんな、学園の楯となる存在・・・それが、生徒会諜報部、通称「Gamble Rumble」>>連載停止中くく

僕こと、マナミタイヨウ眼觀大鷹には、自他共に認める、ある能力が備わっている。

それは、決していいものではなく、事ある毎に僕の行動を阻害し、時には大怪我や、とんでもない事態を引き起します。

それは何の前触れもなく、突如として「不幸」に見舞われる事、だ。

……その効果は、今日という日にも遺憾なく、見事に發揮されました。

「騒ぐんじゃねえッ！ 黙らねえ奴はブツ殺すぞ！！」

男のその叫びに、この場の人間は更にパニックに陥り、皆が皆出口に向かい押し合い圧し合いの惨状が繰り広げられる。

「ツ！ テ、テメヨラ人の話を聞きやがれ！」

「うわあああ逃げろッ」

「トロトロ走つてんじゃねえよ！ 退けろ！」

「ちょ、これって何かの訓練でしょ？ もしくは、ドツキリ？」

逃げる者、他人を殴り倒しながら逃げる者、呑気に現在を否定する者…彼等のざわめきについに男の堪忍袋の尾は断裂した。

誰もが、半信半疑ながらも偽物か精巧な玩具だと思っていた
そう、願っていた物を頭上に振り上げ、そして指に力を込める。

パアーン！！

……この場、講堂に乾いたその音は響き渡り、誰もが背筋を震わせながら、立ち止まり、押し黙る。

「いいか、聞きやがれ！！この銃は偽物じゃねえ。解つたら、とつと元居た場所に戻れ！この、クソガキども！」

今度は、誰も男の言葉に逆らう者は居なかつた。

ただし、今まだ講堂のステージ上で喚いている、男に気圧されたからではなく、あらゆる出入口から、軍服姿で小銃を携えた者達が入ってきたからであつた。

全ての人間が元居た位置に戻り椅子に座つたのを見て、男は満足そうに笑い、そして、ここに入つて来た時と同じ事を叫んだ。

「いいか、よく聞けよ。黎明館学園本校入学式は……俺達、Imperial Unionがジャックした！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1525c/>

生徒会諜報部 †Gamble Rumble †

2010年10月12日03時26分発行